



～曲目解説（演奏順）～

1. 池田

私はティターニアよ 歌劇ミニヨン第2幕より アンブロワーズ・トマが1866年、55歳のとき発表したオペラ。貴族の幼い娘ミニヨンはさらわれ、今はジプシーの見せ物小屋で鞭で打たれながら踊らされている。見かねた見物人ヴィルヘルムや人気女優フィリーヌがお金を払いミニヨンを助け出す。フィリーヌが歌い拍手喝采を受け、周囲をとりこにした歌。歌の内容は、今夜私は金髪の妖精の女王。愛を歌いながら風のように小鳥よりも生き生きと世界中を飛び回る。月明かりの中、小さな妖精の取り巻きたちが空飛ぶ私の馬車の回りを駆け回る。夜明けの花々が開くときに、森や、鮮やかな緑の牧場や、水の上や、霧の中に、軽やかに飛び回る私。

艶やかな宴 クロード・ドビュッシーが1882年、18歳の時、インターナショナル音楽学校に通い知り合った人妻のソプラノ歌手マリー・ヴェニエ夫人に熱烈な恋慕の思いを持ち、歌曲にのめり込んだ時期の作品。ドビュッシーが15歳ぐらいから愛読していたテオドル・フォラン・ド・ヴァンヴィユの詩。いろいろな蝶たちが今宵シダリースの宴に誘われる。香りが漂い、すべての願いはかなう園では、アミンタが薔薇と競い、恋する男達に付き従うフィリスとエグレは魅惑の国に木陰を求め。まぶしい日差しの中ダイヤモンドのような白孔雀が羽を広げるといった内容。

夜なきうぐいす ロシアの作曲家アリャビエフは貴族の家庭で育ち質の高い音楽教育を受けていた。軍人を退役した後、1828年に政治的陰謀により殺人犯にされシベリアに流刑になる辺りの頃作曲され、すぐにロシア中で大流行となった。のちにグリンカ、リスト、ブラームスがピアノ曲に編曲している。どの国

に飛んで行っても、私ほど不幸な人間はいない。そして夜鳴き鶯の聲が何とも悲しく美しく聞こえるといった内容。

2. 梁取

シューベルトのセレナーデ シューベルト最後の年の作曲、歌曲集「白鳥の歌」14曲中の第4曲がセレナーデ。白鳥は死ぬ前に一度だけ鳴くとドイツでは言い伝えがある。男性が歌う歌で、セレナーデは夜のじまに、恋人が窓辺に立って愛を歌う。叶わぬ恋に咽び泣き、愛おしい恋人を誘い出す小夜曲となっている。日本では、堀内敬三が付けた歌詞で歌われている。日本語歌詞は艶めかしさが、たっぷりで、このようなロマン溢れる感傷的な歌詞は、今の時代では作れないであろうが、まさに名文です。

喜びも悲しみも幾年月 1957年に松竹が制作・公開した木下恵介監督の映画作品で、灯台守夫婦を演じたのは高峰秀子、佐田啓二の二人である。海の安全を守るため、日本各地の辺地に点在する灯台を転々としながら厳しい駐在生活を送る灯台守夫婦の、戦前から戦後に至る25年間を描いた長編ドラマである。若山彰の歌唱による同名主題歌の「喜びも悲しみも幾年月」は大ヒットし、後世でも過去の著名なヒット曲として、しばしば紹介されている。

カタリカタリ 「カタリ」とは女性の名前。曲は心変わりをした「カタリ」という女性に対する男性の失恋の歌。「何というつれない女だ、お前は私の命を奪ってしまった」と、苦しくつらい男心を切々と歌う。三大テノール歌手(ドミンゴ、カレーラス、パパロッチェ)などの競演でも歌われ、日本でもテノール歌手の重要なレパートリーの一つになっている。



～曲目解説 (演奏順) ～2

3. 沢木

鴟 三好達治が、終戦直後の昭和21年に出版した詩集に所収されている。題名は「鴟」であるが、歌詞の中に「鴟」という言葉は入っていない。「鴟」は、彼らという言葉に置き換えている。この歌では「ついに自由は彼らのものだ」が12回繰り返される。多くの命を奪った戦争が終わった直後に書かれたこの詩の意味はいろいろな解釈の仕方がある。「彼ら自身が彼らの故郷」、
「彼ら自身が彼らの墳墓」とは、白い鴟の白は、旧制高等学校の真っ白な制服。旧制高等学校にあった現在の体育館。そう戦争で死んで行った若者の魂であり、その魂が、死してはじめて、自由に躍動していけるさまを鴟に託したのではと。
さようなら 歌劇「連隊の娘」より イタリアのオペラ作曲家、ガエターノ・ドニゼッティ(1797-1848)の作品。1840年にパリで初演された。フランス語、イタリア語版があり、どちらもよく演奏される。アリア「さようなら」は第1幕で歌われる。連隊の男たちに育てられ、トニオと婚約したマリーが、彼らと離れ、伯母(実は母親)であるベルケンフィールド伯爵夫人の屋敷に歌う別れの歌で、コメディ仕立てのドラマに盛り込まれた一滴の涙とも言える歌。

4. 大内

Opus かつて「癒しの音楽」として注目された坂本龍一のピアノ曲「energy flow」。その前身とも言える楽曲が詰まったピアノソロアルバム「BTTB」の第1曲に収録されている。作曲者が若い頃に影響を受けたというラヴェル、ドビュッシー等の中でも、サティの影響が強く感じられるのが本作である。タイトルは「Opera(オペラ)」の単数系「Opus(作品)」と

付けられている。

彼(か)の響き 第2番 2016年に作曲。昨年、東京芸術大学上野キャンパスで行なわれたエリック・サティ生誕150年記念イベント「今日は1日、サティの日」へ行き、あまり聴くことのなかったサティの楽曲の魅力を再確認した。現代音楽、特に前衛的な作風を好んでいた作曲者が、少し前の時代の作風を意識して書き上げたのが「第1番」に続く本作である。

心の春 2014年に作曲。未完成のままであったが、「ソロフェスタ」出演のために書き上げた。前2作品とは違い、ヒーリングミュージックを意識した作風となっている。高校生時代に作曲した「春」をテーマにした作品との連作である。連作として発表することは考えていないが、自然と機会が与えられれば発表を検討したいと思う。



5. 五十嵐

三月の堇 窓ガラスに付いた霜の花を見ている若者の美しい青い瞳を堇に例えて讃える。(かのアンデルセンの詩ですが、随分現代感がある詩だと思います。)

溢れる涙 私の熱い涙が落ちて雪を溶かす。それが小川の流に混じって町にたどり着くだろう。そこには私の愛する娘の家が有るのだ。

春の夢 花咲き小鳥囀る春の夢の中で、恋人と口づけし抱擁した。が、鶏の声で目を覚ますと暗くて寒く、独りぼっちだった。私はいつの日に恋人を再び抱きしめることができるのだろうか？

菩提樹 街はずれで、昔その幹にいろいろと彫った愛の想いの言葉を見て、しばし眼を閉

～曲目解説 (演奏順) ～3

じると、その樹の枝のざわめきが私に優しく呼びかけるように聴こえた。その後風で飛んだ帽子も捨てて急いで歩いて来たのだが、何時間も経った今、もう遠く離れたのに、まだその声が聴こえる。(今回は日本語の歌唱を試みるため最後に歌いますが、この曲は歌詞のように、失恋して出た旅の未だ初めの方で、実際の曲順も上の2曲より前です。)

6. 岡野

星野富弘は、1946年群馬県に生まれる。中学の体操教師だった星野富弘さん、マット運動の模範演技中頸椎を損傷、首から下の運動機能を失う。大学病院に搬送され生命の危機を脱するも絶望の淵をさまよう。2年後口に筆をくわえて字や絵を描き始め、病室で書きためた詩画認められ、個展を開くと大きな反響が寄せられる。現在も自宅にて創作活動を続けている。その星野富弘の詩に作曲家なかにしあかねが曲を付けたもの。

[休憩]



7. 飯島

サムワン・トゥー・ウォッチ・オーヴァー・ミー ジョージとアイラのガーシュイン兄弟が1926年のミュージカル「Oh, Kay」(邦題:万事円満)のために書いた曲。アメリカのミュージカルに初出演したイギリスのミュージカル女優のガートルード・ローレンスが、この中で歌い大ヒットした。その後、ジョージ・ガーシュインの伝記映画「ラブソディー・イン・ブルー」(1945)、ローレンスの伝記的ミュージカル映画「スター！」(1968)他多くの映画に使われている。フランク・シナトラ、リー・ワイリー、エ

ラ・フィッツジェラルド、サラ・ヴォーン、リンダ・ロンシュタットなど多くの人に歌い継がれているスタンダード・ナンバー。「私の心に描いている人をさがしているの。私は森の中で迷子になった子羊。私を見守ってくれる羊飼いはどこなの？私にはいつも見守ってくれる人が必要なの」私を見守ってくれる、いまだ見ぬ理想の相手が早く現れくれることを想って歌います。

虹の彼方に ミュージカル映画『オズの魔法使』でジュディ・ガーランドが歌った劇中歌。ある日主人公のドロシーが愛犬と一緒に竜巻に飛ばされて、別世界のオズの国へ迷い込み、家へ帰れる方法を探しながら旅をするストーリー。映画の中では冒頭に近く、まだオズの国に竜巻に飛ばされる前のカンザスにいる主人公ドロシーが歌う。歌詞の最後に鳥たちが虹の彼方を飛んでいく姿を見て、「なぜ？私にも鳥たちのように飛べないわけがないわ！」という感じで歌う。虹の彼方にある、手に届かない夢、と想っているままでは届かない、何事も叶える為には勇気を持ってやるんだ！という前向きな表現にとっても感動を覚える。

花は咲く 2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の被災地および被災者の物心両面の復興を応援するために制作されたチャリティーソング。作詞は宮城県仙台市出身の岩井俊二、作曲・編曲はやはり同県同市出身の菅野よう子。岩井は「この歌は震災で亡くなった方の目線で作りました」と、菅野は「100年経って、なんのために、あるいはどんなきっかけで出来た曲か忘れられて、詠み人知らずで残る曲になるといいなあと願っています」と語っている。生者と死者が歌い交わす未来への想いがこめられた曲。

～曲目解説 (演奏順) ～4

8. 小野

夢のあとに メロディーが大変美しいため、チェロなどの器楽曲としても親しまれている。詩はイタリア トスカーナ地方に伝えられる愛の詩をフランス語に翻案したもの。

君の面影に魅了されたまどろみの中、幸せと燃えるような幻影を夢に見た。君の優しい眼、清く澄んだ声、明るい後光。君は私を呼び、私は地から離れた。君と逃げるために。空は雲を押し広げ、神々しい光が見えていた。ああ、悲しき夢の目覚め。私はお前を呼ぶ。夜よ、お前の偽りを返してくれ。帰れ、輝しき夜よ。帰れ、神秘的な夜よ。

ああ、そうです。あなた方のため私は感じます オテロ第1幕より シェイクスピアの悲劇を題材としたオテロは、ヴェルディの作品として名高いが、ロッシーニも作曲をしている。キプロスをトルコ軍から奪還し凱旋した英雄・アフリカ生まれのオテロが、勝利の褒美として市民権を求め、これを許され喜ぶもの。

ああ、あなた方のため新しい力が胸にみなぎるのを感じる。新しい愛情が感じられるのだ、この心に燃え上がるのを。これ以上の褒賞を私は望もうとは思わない。だが私が幸せになれるのは、この愛が満たされた時だけだ。愛の神よ、雲を散らせ。多くの悩みの原因だった雲を。再び現れ出でよ。希望よ。蘇るのだ。ああ！あなた方のため私は感じる。

9. 山本

リュート組曲(BWV995)より この曲は、先に作曲されたチェロ組曲第5番 BWV1011 をバッハ自身がリュート組曲に編曲したもので、前奏曲と5つの舞曲の計6つの楽章からなっている。5つの舞曲はそれぞれ異なるテンポと拍子を持っていて、もとはフォークダンス

であったり宮廷で踊られたりしていたものが、器楽曲として定着したもの。

今日演奏するクーラント、ガヴオットは、やや速めの軽快な曲調で、サラバンドはゆったりとした優雅な曲調である。それぞれの舞曲の違いにご注目しながらお聴きください。



10. 岡田

小さな家 ジングシュピール風の可愛い歌。「茂みの中の小さな家に、小窓を通して朝日が輝き、ひばりの歌が私を眠りから覚ます。」と歌っている。

ハンナのアリア オラトリオ「四季」より オラトリオは宗教的な題材を用いて、語り手や歌手たちによって演奏会形式で進められる音楽劇のこと。ハイドンが69歳の時に書き上げたこの作品は、四季の移り変わりを季節ごとに描き、オーストリアの農村を舞台に農夫ルーカス、小作人ジーモン、その娘ハンネという3人の庶民の生活と感情を通じて、偉大な自然への感謝とそれを創造した主への感謝を描いている。第2部「夏」で、ハンナが夏の日陰や風の涼しさを語り、そして「なんて心地よいのかしら！心は目覚めてときめきに踊り、湧き出る力に胸は高鳴る」と高らかに歌う。

11. 脇田

ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス ブルッフはドイツ、ケルンに生まれ、有名な音楽教師の母の元に育てられ、多くの作曲家に見られるように幼い頃からその才能を開花させた。彼の作曲したヴァイオリン協奏曲はドイツロマン派の代表的な曲の一つで、ヴァイオリニストであれば、一度は必ず手がけたのではないのでしょうか。

～曲目解説（演奏順）～5

ドイツ音楽と言えば、とても和声的な作風が多い中、彼の作風はとてつとて旋律的であり、そして、民族音楽にも興味があり、「クラリネット、ヴィオラ、ピアノのための8つの小品」のいくつかは民族的旋律がいくつも使われている。彼はブラームスやメンデルスゾーンなどのドイツロマン派に敬意を抱く反面、R. シュトラウスやマックス・レーガーの「新古典派」へ明らかに敵意を抱き彼らへの激しい攻撃をしたため「反動家」としての評判が高まった。ユダヤの題材の作品も多く残しているのにナチスドイツからユダヤ人の疑いをかけられ、上演禁止にもなった。それらの影響からか多くの作品を残したブルッフであるが、その大半は忘れ去られ、現在も復権がされていない。

この「ヴィオラと管弦楽のためのロマンス」はヴィオラの数少ない小品の1つで、ブルッフらしく、美しく甘くそして切ない旋律がオーケストラと複雑に絡み合い、それはまるで恋愛映画を見ているような作品である。今回は

ピアノ伴奏で演奏します。

12. 横山

私は夢に生きたい シェイクスピアの戯曲「ロミオとジュリエット」を原作とし、シャルル・グノーが作曲した同名のオペラ的一幕においてジュリエットによって歌われる。まだロミオと出会う前のジュリエットが、無邪気に恋に夢を見て歌う、清らかさと初々しさに満ちた可憐なアリアである。

私は愛し、幸せでした モーツァルト作曲のオペラ「後宮からの誘拐」におけるヒロイン、コンスタンツェによって歌われる。スペインの青年貴族、ベルモンテの恋人のコンスタンツェは航海中に海賊に襲われ、次女と従僕と共にトルコの大公の元へ売られてしまう。大公は彼女を口説こうと手を尽くすがコンスタンツェは頑なに拒み続ける。その訳を聞く大公に向けて恋人がいたことを告げるアリアがこの「私は愛し、幸せでした」である。



～つくばソロ連絡会について～

Google 等で「ソロフェスタ」で検索すると出る「ムジカフェスタ・ディつくば」（つくば音楽団体交流協議会）のホームページ <http://www.musicafesta.com/> を開き、黒いメニューバーの「ソロフェスタ」ボタンをクリックすれば、ページが開き、過去のちらしやプログラムと共に、第5回、第6回共通の募集ちらしの裏面に、参加要綱が掲載されています。また「ソロフェスタ」ボタンの上にポインターを置くと出るサブメニューには、「公演の記録」や「ソロ連絡会について」のページがあります。ご出演のお申込みやお問い合わせは、ご遠慮なく下記宛てにお願いします。

事務局 堀部 一寿 horibe3721@gmail.com（ピアツツァ・アルテ音楽教室内）

代表者 五十嵐 滋 homer525@hotmail.co.jp 029-851-5616・Fax 856-4185